

# 平成19年度事業報告書（案）

## （目次）

## ページ

1	里山活動団体間のネットワークの構築（県内に広がる里山活動）	3
2	イベントの開催（県民への里山活動PR）	3
3	里山に関する相談・支援（県内に広がる里山活動）	4
4	里山の整備のための技術指導及び研修（会員の技術レベルアップ）	5
5	里山に関する情報発信（県民への里山活動PR）	6
6	平成19年度里山活動事例発表会の開催（会員の活動状況）	6
7	里山情報バンク制度の状況（里山再生を促進）	7
8	ボランティアサポートシッププログラム（企業の里山活動への参画）	7
9	「ちば里山ボランティア保険」の状況（会員の安全保証）	7
10	運営員会の開催	7

（ちば里山センター正会員73団体）

炭友会、上総里山会、（特非）いづみの会、（特非）ちば環境情報センター、（特非）CCC自然・文化創造工場関東事業部、豊富どんぐりの森、さくらグリーンクラブ、酒々井里山フォーラム、（特非）水と森と人とIN神崎、桜宮自然公園をつくる会、小見川竹炭研究会、アルカディアの会、NPOのれんを守る会、（特非）さんむ環連協、長生森の会、桑田里山の会、ちば千年の森をつくる会、里山シンポジウム実行委員会、残土・産廃問題ネットワーク・ちば、四街道グリーンヴォランティアーズ、日本雁を保護する会（東京支部）、谷当グリーンクラブ、いちはら里山会、（特非）成田・里山を育てる会、山武に雑木林をつくる会、大家山、ふなばしネイチャーゲームの会、竹研究会、ワークホーム里山の仲間たち、あさひクヌギの里、リコー千葉ふれあいの森、千葉県自然観察指導員協議会、飯高の巨樹と里山物語、（特非）大山千枚田保存会、ちば・谷津田フォーラム、鴨川里山を守る会、里山を歩く会、四街道自然同好会、松戸里やま応援団、（特非）ちば森づくりの会、茂原自然と遊ぶ会、ホテルの里を守る会、（特非）しろい環境塾、安馬谷里山研究会、いちはら里山クラブ、房総竹炭の会、市原米沢の森を考える会、（特非）もったねえよ・いちはら、「成田桜の里」里親の会、船橋里山の四季、（特非）ネイチャースクールわくわくWADA、たのくろ里山保存会、ボランティア集団やまと、（特非）住みよい地域づくり推進協議会、里山保全「自然塾」、成田里山づくりの会、（特非）ひがた八萬石、養老溪谷ふる里を守る会、NPO法人 市津・ちはら台自然楽校、おとずれ山の会、早船里山の会、上総自然学校、フォレストベアクラブ、市原SaToYaMaよくし隊、わんぱく森の会、北総里山倶楽部、いしかわ里山倶楽部、さんむ・アクション・ミュージアム、里山作り拓樹、千葉学習塾共同組合、風呂の前里山保存会、株式会社ウエッジホーム、稲村城稲の里体験倶楽部

## 平成19年度事業報告書(案)

自 平成19年4月 1日  
至 平成20年3月31日

ちば里山センター

平成19年度は団体を設立して4年目の年であり、里山条例の具体化を図るため、広く県民及び企業が里山及び里山活動に関する関心や理解を深め、もって里山の整備等の活動への積極的な参加を促進するための取り組みを行った。

さらに会員の募集や情報の収集並びに里山活動団体等の活動を支援するとともに、会員や関係機関等の協力を得て、下記の事業を実施した。

### 1 里山活動団体間のネットワークの構築

ホームページによる旬の情報の提供、里山新聞の発行、里山公開講座、技術講習会の実施、当センターの趣旨や活動内容等を広報したことにより、会員数は設立当初の18から155(正会員:73,賛助会員82)となった。

これにより、ネットワークを利用して会員どうしの交流が始まり、会員間での技術支援や団体の運営方法について助言などが行われるようになった。また、新たに活動を始めたいという人が、ちば里山センターに相談に来るようになった。

団体会員の推移

年度	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	増数(19年度-18年度)
正会員	47団体	61団体	63団体	73団体	10団体

### 2 イベントの開催

#### (1) 第4回里山フェスティバルを開催

会員の活動を広くPRするとともに、広く里山について関心や理解を深めてもらうため、市民団体、県民、企業、県などと連携して開催し多数の県民の参加を得た。

里山体験6コースで下刈り体験・自然観察会(参加人数387名)

	実施日	テーマ	参加者
1	19.5.12	北総やまとの森で森林整備と竹炭づくりコース(香取市)	55名
2	19.5.13	丸々1日山武林業体験コース(東金市)	43名
3	19.5.20	おんだら山で里山づくりと上総掘りに挑戦コース(南房総市)	48名
4	19.5.26	都市近郊の里山で竹林整備と谷津田観察コース(千葉市)	27名
5	19.5.27	印旛沼水源域で里山づくりと酒蔵見学コース(酒々井町)	63名
6	19.5.27	養老溪谷で里山づくりとハイキングコース(大多喜町)	50名

#### アンケート集約結果(里山体験6コース参加者)

- ・参加者に占める50~60代の比率は、68%
- ・植樹や下刈りなどの里山作業体験、自然観察、竹・わら細工が好評
- ・これを機会に里山活動に参加したいと9割以上の方が回答 等

## 里山シンポジウム

19.5.19 城西国際大学 水田記念ホールで開催(参加人数500人)

- ・テーマ 「里山となりわい」
- ・基調講演 法政大学講師・大地を守る会国際局顧問 小松 光一氏  
「里山を活かすなりわいを考えよう」
- ・「八千代の里山を語る会」など13分科会で研究発表や意見交換を実施
- ・参加団体 里山シンポジウム実行委員会構成団体・協賛団体

### 3 里山に関する相談・支援

里山活動団体、個人、企業等から、里山活動に関する質問、相談を受け、助言や指導等必要な支援を行った。

**県民からの相談** 相談件数 70件

- ・活動に参加したいが活動場所や団体を紹介してもらいたい
- ・助成金の申請に当たり助言・指導して欲しい
- ・里山を有効活用したいが何か方策は
- ・森の手入れ方法などについて現地指導してくれないか 等

**「千葉の里山・森づくり推進プロジェクト」提案企画書作成に参画**

企業参加による里山の保全的利用の推進、新たな仕組みづくりを県民、NPO、企業、行政などが連携・協働で行うプロジェクトの検討委員として参加。

**大学生の里山活動支援**

・平成19年9月9日(日)～12日(水)4日間、明海大学生が「市原米沢の森を考える会」のメンバーと里山整備活動を行った。荒廃が進んでいる里山を前にし、ボランティアグループの人々と共に里山整備作業を行い、自然を観察することにより、里山整備と生物多様性の保全との関わりを実感した。

・平成19年12月10日明海大学のキャンパスで学生を対象に「千葉里山の現状と課題」について発表した。同時に明海大学の学生が「市原米沢の森を考える会」で実施した里山ボランティア活動の報告会が行われた。

**環境NGOと市民の集い**

平成19年10月28日独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部主催の「環境NGOと市民の集い 関東ブロック大会」(東京農大世田谷キャンパス)が開催され、ちば里山センターは地球環境基金の助成を19年度から受けることから、自然保護をテーマにした分科会で「千葉県里山条例」と「ちば里山センターの活動」について発表した。

**企業による森づくり活動の促進に向けた森づくりフェア**

平成20年2月22日林野庁、(社)国土緑化推進機構主催で「企業の森づくりフェア2008」がおこなわれ、27都道府県の行政関係者や企業の環境・CSR担当者が多数参加した。各都道府県の展示ブースでは企業の誘致相談窓口を開設。千葉県にも多数の企業が相談に訪れた。

**会員に対する支援**

会員からの要望等を受け、森林研究センター、県みどり推進課など関係機関の協力を得て、森林整備や活用に関する指導・助言、会員の行事などHPへの掲載等支援を行った。

#### 4 里山の整備のための技術指導及び研修

##### (1) 里山公開講座

森林研究センター主催の会員や県民等を対象にした「現場で役立つ 里山の森を活かす知恵と技術 - 竹林の拡大防止と竹材利用 -」をテーマに里山の整備や活用方法についての講習会に全面的な協力を行った。(参加人数120人)

実施日	タイトル	内容
19.8.8	竹林の拡大防止と竹材利用の講義と実習 (森林研究センター)	千葉県森林では、管理放棄された竹林が周囲森に侵入して拡大し、森林資源の劣化、景観の破壊、生物多様性の喪失が問題となっている。そこで、里山整備における竹林の拡大防止技術、竹材の利用技術を県民とともに検討し、普及することを目的に里山公開講座を開催する。
19.8.10	竹林調査の説明、調査実習、伐竹作業 (大多喜町平沢)	
19.8.17	竹林調査の説明、調査実習、伐竹作業 (南房総市和田町黒岩)	
19.8.24	竹林調査の説明、調査実習、伐竹作業 (東庄町ふれあい公園)	
20.2.14	研究成果発表会(森林研究センター)	

##### (2) 安全技術講習会

会員を対象に会員や千葉県林業サービスセンターなどの協力により、刈払機やチェーンソー等の取り扱いなど、安全で適切な里山整備を実施するのに必要な技術講習会を実施した。(参加者295人)

年月日	内容	協力団体名など	参加人数
19.7.21	技術研修安全な作業 (刈払機)	いちばら里山クラブ	19
19.9.2	技術研修安全な作業 (刈払機)	北総里山倶楽部	20
19.9.5~6	技術研修ドラム缶炭焼き・伏せ焼き	君津市森林体験交流センター	15
19.9.9~12	明海大学生里山活動(チェーンソー)	市原米沢の森を考える会	44
19.10.7	技術研修安全な作業 (ナタ・カマ・ノコ・クワ)	正次郎鋏刃物工芸	17
19.10.8	技術研修安全な作業 (チェーンソー)	ちば千年の森をつくる会	13
19.10.20	技術研修安全な作業 (チェーンソー)	リコー千葉ふれあいの森	23
19.11.11	技術研修安全な作業 (刈払機)	学習塾共同組合	18
19.11.17	技術研修安全な作業 (チェーンソー)	いちばら里山クラブ	24
19.12.6	初級安全研修(チェーンソー)	わんぱくの森の会	37
20.1.21	技術研修安全な作業 (チェーンソー)	豊富どんぐりの森	21
20.1.26	技術研修安全な作業 (チェーンソー)	市原米沢の森を考える会	44
			295

### (3) 里山一日活動体験

会員の活動を広くPRするとともに、広く里山について関心や理解を深めてもらうため、会員団体、市民団体、県などと連携して開催した。

年月日	内容	協力団体名など	参加人数
19.9.17	里山一日活動体験 ニホンジカとの共生を目指す森づくり	ちば千年の森をつくる会	25
19.9.23	里山一日活動体験	里山を歩く会	60
19.11.11	里山一日活動体験	市原米沢の森を考える会	30
19.12.1	里山一日活動体験ほたるの里整備	清和ほたるの里を守る会	62
19.12.9	ドラム缶炭焼き体験	里山を歩く会	58
20.2.16	シイタケ植菌体験	市原米沢の森を考える会	35
			270

## 5 里山に関する情報発信

当団体及び各里山活動団体の活動内容を広く県民、行政機関等に広報するため、ホームページを運用するとともに、里山新聞を発行して、里山関係団体、市町村及び県関係機関に配布した。

### ホームページの更新数 (58回)

H16.11 開設、H17.11 アクセス数1万人達成、H20.5 現在アクセス数4.8万人

(ホームページの掲載内容)

- ・里山情報バンク
- ・会員、里山センターが行うイベント案内
- ・ちば里山新聞の掲載
- ・里山フェスティバル開催のお知らせ

### 里山新聞の発行 (発行部数6千部)

平成19年8月 第12号(「みどりと里山の県 ちば」堂本県知事寄稿)

平成19年11月 第13号(「G20ちば2008」の紹介)

平成20年2月 第14号(里山条例の一部改正について)

平成20年3月 第15号(第5回里山フェスティバル開催について)

## 6 平成19年度里山活動事例発表会の開催

ちば里山センターの会員である各団体の設立趣旨や活動方針並びに日頃の活動状況などを発表し、会員相互の連携を図るとともに、今後、千葉県の里山をどのように保全、利用するための方策を探る一助とすることを目的に、第2回里山活動事例発表大会を開催した。

日時：平成20年3月8日(土) 場所：「プラザ菜の花」

記念講演：東京情報大学 環境情報学科 教授 ケビン・ショート氏

\* 講演内容「千葉の里山を再生するために」

- 里山団体活動発表：(1)北総里山倶楽部  
(2)養老溪谷ふる里を守る会  
(3)リコー千葉ふれあいの森  
(4)(特非)しろい環境塾  
(5)酒々井里山フォーラム

## 7 里山情報バンク制度の状況

平成17年11月に運用を開始した「里山情報バンク制度」について、行政と連携して情報の集積と里山活動団体の相談や情報提供を実施した。

## 8 ボランティアサポートシッププログラム

「ボランティアサポートシッププログラム」を運用するため、受入希望の里山活動団体とともに、受け入れてくれる企業を募集中。

## 9 「ちば里山ボランティア保険」の状況

全労済と開発した「ちば里山ボランティア保険」について、平成20年5月現在34件加入し、うち19件がちば里山センターの会員である。

## 10 運営委員会の開催

運営委員会を開催し、里山活動に関わる諸問題や里山センターの運営方針について検討を行った。

日 時	内 容
19.6.1	平成19年度通常総会について他
19.6.19	平成19年度通常総会について他
19.9.28	平成19年度「森づくりコミッション」登録他
20.1.15	平成19年度「森づくりコミッション」登録他